

数学

<全体分析>

試験時間	60分	解答問題数	3題
------	-----	-------	----

<p>解答形式 3題すべて記述式。</p> <p>分量・難易（前年比較） 分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加） 難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）</p> <p>出題の特徴 例年通り、標準的な問題が出題の中心である。</p> <p>その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など） 3に5つの円（オリンピックマーク）に関する問題が出題された。 今年もベクトルの出題がなかった。</p>
--

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	微分 式と証明 微分	数学Ⅱ	3次関数が極値を持つ条件	標準
		数学Ⅱ	整式の割算	
		数学Ⅱ	3次関数のグラフの図示	標準
2	数列 2次関数 1次関数	数学B	絶対値記号のついた数列の和の計算	
		数学Ⅰ	2次関数の最小値	
		数学Ⅰ	絶対値記号の付いた1次関数の最小値	
3	図形と方程式	数学Ⅱ	5つの円 面積、共通接線の本数 外接円の半径	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

<p>例年、基本レベルから標準レベルの出題であるから、標準的な問題集で演習するとよい。 数年単位でみると数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの全分野から出題されているので、本年度の出題分野に限定せず、すべての分野で基本から標準までしっかりとした準備をしておきたい。60分という比較的短い試験時間を考えると、日頃の演習で思考力とともに計算力も養っておこう。</p>
--